

# 県議会だより いしかわ



石川県議会  
マスコットキャラクター  
**石若丸**  
いし わか まる

## 開港50周年にオープンしたにぎわい拠点 金沢港クルーズターミナルが大人気

この11月、金沢港は1970年の開港から50周年を迎えます。そんな節目の年にお目見えしたのが、「金沢港クルーズターミナル」です。ゆるやかな波をイメージした屋根が特徴の新たな海の玄関口として、大型モニターの操船シミュレーターがある「金沢港まなび体験ルーム」や海をテーマにした伝統工芸の柱など、見どころはいろいろ。日没から午後9時まで金沢港全体をライトアップしており、昼夜を通して多くの家族連れやカップルなどでにぎわっています。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響でクルーズ船の寄港中止が続いていますが、物流やにぎわいの拠点となる金沢港の活性化は県政にとって重要なテーマです。目まぐるしく変わる時代の大海原を、これからもふるさと石川が渡っていけるよう、県議会もしっかりと舵取りを担っていきます。



今号の  
トピックス

- キーワードで見る県議会「加賀百万石回遊ルート」
- 石若丸が教える！1からわかる「県議会教室」



# キーワードで見る県議会

## 「加賀百万石回遊ルート」

### 約2キロのルート沿いには 城下町・金沢の魅力が目白押し

金沢城公園と尾山神社を結ぶ鼠多門橋が今年7月に完成しました。これにより長町武家屋敷跡から尾山神社、金沢城公園、兼六園、本多の森公園に至る「加賀百万石回遊ルート」が誕生しました。約2キロのルート沿いには、加賀百万石の栄華を築き、現代まで受け継がれる石川の豊かな文化を育んだ加賀藩・前田家にまつわるスポットが目白押しです。さらに、金沢中央観光案内所も6月にオープンし、興味・関心に応じた旅の相談や、ルート沿いの観光・文化施設を巡る共通のパスポートの販売など、さまざまなサービスを提供しています。



県議会では、ふるさと石川の魅力である観光や文化を一層、磨き輝かせるため、加賀百万石回遊ルートに関して多彩な角度から質問しています。その中から、10月25日に開館した国立工芸館の質問を取り上げます。

県議会では、ふるさと石川の魅力である観光や文化を一層、磨き輝かせるため、加賀百万石回遊ルートに関して多彩な角度から質問しています。その中から、10月25日に開館した国立工芸館の質問を取り上げます。

## 加賀百万石回遊ルートに関する主な質問と答弁（9月定例会）

### 国立工芸館について

**Q.** 兼六園周辺文化の森の各施設は、国立工芸館とどのように連携を図っていくのか。

**A.** 国立工芸館と周辺の文化施設が連携し、相乗効果を発揮していくことが重要であり、中核となる県立美術館では、前文化庁長官の青柳正規氏を新館長に迎え、万全の体制を整えるとともに、県と金沢市で構成する文化関係の連携組織に国立工芸館にも参画していただく。

具体的には、国立工芸館の開館記念展に合わせ、県立美術館や歴史博物館などでさまざまな角度から「工芸」の魅力と奥深さを発信する特別展を開催するとともに、新たに各文化施設のイベントなどを網羅したガイドブックを作成し、共同で広報を行う。

また、国立工芸館や県立美術館など工芸に関連した7施設間で、他施設の入場券の半券を提示することで、団体料金で入場できる相互割引制度を創設する。加えて、レトロな雰囲気を楽しめる兼六園周辺の近代建築物の魅力やマップなどを掲載したパンフレットを新たに作成し、イベントガイドブックと併せて全国の国立美術館に配置するなど、積極的にPRに努めていく。

**Q.** 国立工芸館の名誉館長に就任する中田英寿氏（元サッカー日本代表）には、どのような役割を担ってもらうのか。

**A.** 名誉館長は対外的な発信力を強化するため、県の提案を受けて置くことにされたものである。

多方面への情報発信やネットワークづくり、国立工芸館の事業運営への助言などの役割を担っていただくことになり、「工芸王国」と言われる石川県の工芸文化の魅力を、日本全国さらには世界に向けて発信していただけると期待している。



10月25日に移転開館した国立工芸館

### 新型コロナウイルス感染症

## 差別根絶へ、全会一致で可決

石川県議会は、新型コロナウイルス感染症に関連して、不安から生じる差別や誹謗中傷が問題となっていることから、9月定例会で「新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見等の根絶に関する決議」を全会一致で可決しました。人権尊重の意識を共有し、県民と一体となり差別や偏見等の根絶を目指し、取り組んでいきます。



### 新しい生活様式を実践しましょう

身体的距離の確保      手洗い、咳エチケットの徹底      「3密（密閉・密集・密接）」の回避

## 9月定例会における主な質問と答弁

### 検査体制の強化

**Q.** 身近な医療機関で検査が可能となる。検査体制強化の内容は。

**A.** 季節性インフルエンザの流行期を控え、検査体制を抜本的に拡充し、県医師会と集合契約を結び、身近なかかりつけ医での検査を可能とした。これにより現状の約6倍、1日1500件の検査体制が整い、県下全域で検査できる体制が構築された。引き続き、迅速な検査から適切な治療につなげていくためにもさらなる拡充に努めていく。

### 受診手続きについて

**Q.** 発熱症状のある患者の受診手続きをどのように周知していくのか。

**A.** 国によると発熱症状がある場合、まずはかかりつけ医などの身近な医療機関に電話相談する、相談先に迷った場合は相談センターに連絡する、受診の際は電話予約の上での来院を徹底するとされており、これらの情報を県の広報媒体やメディアなどを活用し、県民に広く周知していく。

第2回 石若丸が教える!

## 1からわかる「県議会教室」



# “本会議と委員会”

前号から始まったシリーズ企画「県議会教室」では、県議会の役割や仕事をわかりやすく紹介しています。第2回となる今回は、議会で開く本会議と委員会について解説します。

## 本会議は全議員参加、委員会は少人数で専門的に議論

### Question

石川県議会ホームページには、議会日程と委員会日程が掲載されています。議会日程は本会議のスケジュール、委員会日程にはいろいろな名前の委員会の開催日が書かれています。どのような違いがあるのですか。

### Answer

県議会で議員と執行機関の県などが話し合う場合は、大きく分けて2つあります。その一つが全議員に参加を求める「本会議」です。石川県議会の本会議は、決まった時期（2月、6月、9月、12月）に開催する「定例会」と、必要がある場合に開催する「臨時会」があります。本会議では、知事が提案した議案に対して、「県民の意見や願いを反映しているか」「ふるさとの発展に結びつくか」などの視点から議員が質疑・質問を展開し、採決を行います。本会議で決まったことが議会の最終的な意思であり、県ではその決定に基づいて仕事を進めていきます。

一方で、石川県が抱える課題は多岐にわたります。そこで、専門的に効率よく議論を深めるために、県議会では5つの常任委員会を設置し、県の施策などを審査しています。このほか、議会の運営方針などを協議する議会運営委員会、特定のテーマについて審議する4つの特別委員会も設置しています。

#### 石川県議会が設置する5つの常任委員会

総務企画  
県民委員会

厚生文教  
委員会

環境農林  
建設委員会

商工観光  
公安委員会

予算委員会

県議会の活動を伝える広報紙

# 県議会 だより

第34号

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)  
令和2年10月27日発行

## 県議会の傍聴や見学ができます!

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地  
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する  
ご意見・ご提言を  
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからも送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

[gikai@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:gikai@pref.ishikawa.lg.jp)